

12月16日(水)

2009年(平成21年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1

〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社

こう けん びと 貢献人たち

CSRの現場から

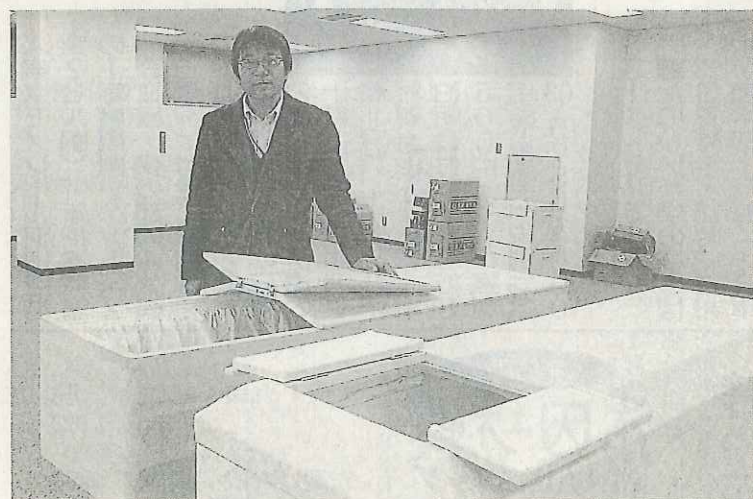
この世を旅立つ時に使われている熱帯雨林が失われ、地球温暖化につながる。梱包材メーカー「トライウォール」(千代田区)が販売する紙製のひつぎ「エコフィン・ノア」は、見た目は従来のひつぎと同じだが、たたくと軽い音がする。3層からなる段ボールで作られている。

紙や間伐材製のひつぎ販売

「国内林業の活性化を」

代田区)が販売する紙製のひつぎ「エコフィン・ノア」は、見た目は従来のひつぎと同じだが、たたくと軽い音がする。3層からなる段ボールで作られている。

年ほど前から、同社の鈴木雄二社長(66)が持っていた。ほとんどが外国産の木材から作られる割りばしが環境問題として取りざたされた時期と重なる。「外国の木を使うひつぎも、環境に配慮したひつぎが必要とされる時代が来る」



薄いグリーン色の布に包まれた紙製のひつぎ(手前)と、ヒノキの間伐材で作ったひつぎ(奥)について語る増田さん

国内のひつぎの大半は、熱帯雨林から伐採された木材を使った合板で作られている。「二酸化炭素(CO₂)を吸収し、紙製のひつぎの構想は15

年ほど前から、同社の鈴木雄二社長(66)が持っていた。ほとんどが外国産の木材から作られる割りばしが環境問題として取りざたされた時期と重なる。「外国の木を使うひつぎも、環境に配慮したひつぎが必要とされる時代が来る」

薄いグリーン色の布に包まれた紙製のひつぎ(手前)と、ヒノキの間伐材で作ったひつぎ(奥)について語る増田さん